

■あなたに苦勞させるため■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 094 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

094 目次

1. トピックス：あなたに苦勞させるため
2. お知らせ：LR オーナーズクラブのご案内
3. まつむら塾
4. 今後の予定：今週・来週以降
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/category/p9/>

.....

1. トピックス：あなたに苦勞させるため

起業支援活動家だと名乗る僕だが、常々「起業は自分でやるべきこと」と言っている。

「自分でやるべきことを支援する」って、一見矛盾しているようにも思えるが、大事なことなので少し説明しておきたい。

僕が起業支援活動を始めるきっかけとなったのは、2005 年に世田谷区の廃校プロジェクト「IID 世田谷ものづくり学校」に参加したこと。

このプロジェクトは、廃校になった元区立池尻中学校の校舎を、民間企業が賃貸契約で借り受けて、大家である世田谷区に家賃を支払う形式だ。

通常、公共施設の管理業務を民間事業者に委託するところを、まったく逆の関係になる都内初の取り組みとして、注目の中 2004 年秋に開業した。

ところがこの企業の財務内容が急激に悪化して、年末にはスポンサー企業が再建に乗り込んできた。

残念ながら、株式公開を目指す新経営陣は、このプロジェクトに関心を持たず、現場は厳しい合理化を求められ、地域社会との交流や貢献事業どころではなくなってしまった。

そこで僕の役割は、このプロジェクトが本来目指していた事業を展開するため、独立採算による分社化の実現だった。

建設会社の経営から、全く異分野の世界に飛び込んだ僕にとって、この事業の内容はちんぷんかんぷんだった。でも、僕の役割は現場の士気を取り戻し、世田谷区や近隣社会との信頼関係を構築することだ。プロジェクトの実務については、現場のスタッフや入居クリエイターたちが本来の力を発揮すればいいだけのこと。

そこで僕は、自ら「校長」と名乗り、自分用の新規のポジションを作り出して、現場に乗り込んだ。案の定この作戦は見事に的中し、内外の方たちから「あんたが校長か、よろしく頼むよ」とすんなり受け入れられた。

こうして世田谷区と僕は、大家さんと店子としてのお付き合いが始まった。

当時世田谷区では、「産業振興」関連の事業を充実させるため、新たな公社の設立準備を進めていた。

そして「商店街の振興」、「雇用促進」などの従来事業に加え「起業・創業支援事業」の創出が求められていたが、その具体策を見いだせずに困っていた。

ある日、家賃の支払いを兼ねて区役所を訪ねると、担当部長から呼び止められ、「世田谷区がやるべき起業支援って何だと思う?」と尋ねられた。

そこで僕は、「役所が市民の商売を支援するって本末転倒だと思います。起業を商売に限定せず、市民のチャレンジ全ての相談に乗ったらどうですか?」と答えた。

意外にもこの提案はすぐさま取り入れられ、数度の打合せで実現することになってしまい、その上「その事業は松村さんがやるしかない」と言われたのには驚いた。

でも、もちろん僕は「そんなことやったことありませんけどお引き受けします」と二つ返事で快諾した。

すると部長も、「こんなこと、誰もやったことないからよろしくお願いします」とにっこり笑った。

僕はプロジェクトを「せたがやかやっく」と命名し、2006年の秋からスタートした。

かやっくとはカヌーのこと。

ボートのように後ろ向きで漕ぐのではなく、カヌーのように前を向き、景色を見ながら力を合わせて漕いで行こうと思いを込めた。

そしていよいよ初日、役所のフロアにたどり着くと、その脇に「創業相談」の窓口がある。

「あれ?、僕の他にも相談窓口があるなんて、どういうこと?」とけげんに思った。

早速窓口に行き、名刺を出して挨拶すると、相談員の方は「中小企業診断士」だった。

彼らは、区が行う創業融資の斡旋と利子補給の審査と指導を担当し、事業計画の作り方や申請書類の書き方などを指導していた。

この時僕は、全国にある創業相談窓口が何のためにあるのかを初めて理解した。

そして、いみじくも僕の提案した「商売に限定せずすべてのチャレンジを応援する」が、前例のないことだったのを改めて知ることになった。

こうして「すべてのチャレンジを支援する」取り組みは、区役所内部でも話題となり、区民だけでなく役所の職員からも相談を受けるようになった。

そりゃそうだ、区役所だってビジネスなんだから。

保健所からは、メタボ対策を区民に知ってもらうにはどうしたらいいか。

国際課からは、少ない予算で国際交流をするにはどうしたらいいか。

生涯現役課からは、区民のイベントにマスコミの取材を誘導するにはどうしたらよいか。

そんな課題に挑む人たちがやるべきことは何かを考えるのはホントに面白い。

そして、彼ら自身がそれに気づき自ら取り組むために、僕が何をすべきかを考え、やってみるのはもっと面白い。

でも、ほとんどすべて、長続きはしなかった。
残念ながら、役所とはそういうところだと僕は思った。

なぜ続かないのか、それは、誰も自分のこととしてやらないからだと思う。
誰もが「仕事だから」やっているに過ぎないし、マナー化しないよう人事はぐるぐる変化する。
一方で、僕にとって「せたがやかやつく」単なるお仕事ではない。
相談に集まった区民起業家たちと NPO 法人を作り、この事業そのものをこの法人で請け負った。
そして、全てのチャレンジがその面白さを競い合う「世界一ハードルの低いビジネスコンテスト」を開催した。
そこで知り合った多くのチャレンジャーたちが僕の人脈となり、そのネットワークは着実に広がっていった。
そんな事業も、ある時ぱったりと終了した。
だから僕は、もう二度と行政の仕事はしたくないと思った。
でも考えてみれば、ある日突然始まったのだから、突然終わってしまうのは当然だ。
誰かのためでなければ、誰かの思いや意思が無ければ、継続もなければ未来もあるはずがない。

だからもう、二度と人生の無駄遣いをしたくない。
僕が関わりたいのは、あなたが「自分自身でやること」だ。
それがあなたのチャレンジだから、僕にとってやる価値がある。
僕の仕事は、あなたがチャレンジしないで済むようにすることでなく、あなたが諦めないようにチャレンジのハードルを下げたり、付き合ってくれる仲間を募ることだ。
僕が今、土地所有者のチャレンジ支援に夢中になるのは、誰もそれをやろうとしないから。
さらに、何でもできる所有権を「チャレンジ権」と考えれば、チャレンジしない人が所有しても意味がないとさえ僕は思う。
あなたが楽をするためでなく、あなたに必要な苦勞をさせるために、僕はあなたを手伝いたい。
どうかな？

<http://nanoni.co.jp/20170212/>

.....

2. お知らせ：LR オーナーズクラブのご案内

LR オーナーズクラブは、土地資源を使って何かを叶えたいと願う土地オーナーの交流会です。
常連の A さんは、神奈川県内の 2 か所に母上が作った投資用アパートを引き継いだのですが、単なる投資事業と割り切ることができず、アパートの環境整備や、入居者との交流を目論んでいます。
でも、オーナーの母上はもちろんのこと、現地の管理会社からも全く相手にされずすっかり自信を失いかけていましたが、このオーナーズクラブで思いを語るうち、すっかり自信を取り戻しました。
土地オーナーの願い事を真剣に聞いてくれるのは、土地オーナーの仲間たちだけ。
逆に言えば、土地オーナーの声に真剣に耳を向けるあなたなら、土地オーナーの仲間入りができるはず。
いやむしろ、土地を手放さず、永い時間をかけて何かを実現したいと思う人でなければ、土地オーナーになる意味がないのかもしれない。

そんな会に興味があれば、どなたでも参加できます。

どうぞ気軽にお問い合わせください。

LR オーナーズクラブ 2月例会

日時：2/16(木)19-21時

場所：笑恵館 世田谷区砧 6-27-19

会費：無料 おやつの差し入れ歓迎

主催：日本土地資源協会

イベントページはこちら

<https://www.facebook.com/events/1478007715566680/>

その他、ご不明な点があれば、何なりとご質問ください。

問合せ先 メール：takuya@nanoni.co.jp 携帯：090-9830-3669 松村まで

.....

3. まつむら塾

■開催予定 講義+演習

- ・日程 2/23、3/9 (第2,4木金曜日) 19-21時 笑恵館
- ・その他会場募集

まつむら塾を開催させてくださる会場を募集しています。会場提供者は、受講料免除といたします。

■自習室 <http://nanoni.co.jp/juku/>

まつむら塾の講義内容を、自由に閲覧できるサイトです。

- ・新着記事 A1.理屈編 3.人間について 2.why 欲求と満足(2/8公開)

http://nanoni.co.jp/juku/a13_2/

■オンラインまつむら塾：まつむら塾の演習をオンラインで体験できます。

- ・事業目的の作り方(公開中)

<https://synapse.am/contents/monthly/m-juku01>

現在：RAM 会員 3名、ROM 会員 0名 (定員 30名)

- ・倒産覚悟の経営のススメ(公開中)

<https://synapse.am/contents/monthly/matsumuratakuya>

現在：会員 8名 (定員 30名)

.....

4. 今後の予定：今週・来週以降

凡例 ○面談歓迎：来て下さればあなたの面談を優先。

◎呼出歓迎：あなたのお誘いを優先、訪問可能。

●同行可能：僕の訪問先にお連れします。

★参加可能：あなたも参加可能なイベント。

.....

(月) 2/13 ○自宅作業日

(火) 2/14 ○午後から笑恵館で面談可

15-17 時 ★日本土地資源協会 経営会議

http://land-resource.org/info/lrmtg_info

17-19 時 ★笑恵館クラブ運営会議

http://shokeikan.com/info/office_mtg

(水) 2/15 ○作業日(世田谷方面)

(木) 2/16 ○終日笑恵館で面談可

19-21 時 ★LR オーナーズクラブ

<https://www.facebook.com/events/1478007715566680/>

(金) 2/17 ○午後から笑恵館で面談可

19-21 時 ★第 15 回 解決しゃべり会(笑恵館)

<https://www.facebook.com/events/377307462642210/>

(土) 2/18 ○休業日

(日) 2/19 ○作業日

■その後のイベント

2/21 16-18 時 ★笑恵館を学ぼう

2/21 18-20 時 ★笑恵館・持ち寄り食事会

2/23 18-21 時 ★まつむら塾(笑恵館)

2/25 15-17 時 ★砧むらマップカフェ(OBK)

2/26 10-15 時 ★名栗の森オーナーシップクラブ

2/28 17-19 時 ★笑恵館クラブ運営会議

相談のある人、一杯やりたい人、歓迎です。

松村の予定はこちらで公開しています。<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

5. アクセスポイント：問い合わせ先

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携 帯 090-9830-3669 taku8823@ezweb.ne.jp

自 宅 株式会社 なのに(平社員)

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職 場 一般社団法人 日本土地資源協会(代表理事)

<http://land-resource.org/>

笑恵館 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19

<http://shokeikan.com/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://land-resource.us10.list-manage.com/subscribe?u=800df08672d8b31689226516d&id=df33ae0ce9>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka/>